



2016年3月期 第2四半期 決算説明会

2015年11月16日

バンドー化学株式会社

I. 会社概要

II. 2016年3月期 第2四半期 決算概要

III. 2016年3月期 業績予想

IV. 中期経営計画

Breakthroughs for the future について

I . 会社概要

会社基本情報

社名	バンドー化学株式会社(証券コード:5195)
本社所在地	兵庫県神戸市中央区港島南町4-6-6
代表者	代表取締役社長 吉井 満隆
設立	1906年4月(明治39年4月)
資本金	10,951百万円(2015年9月30日現在)

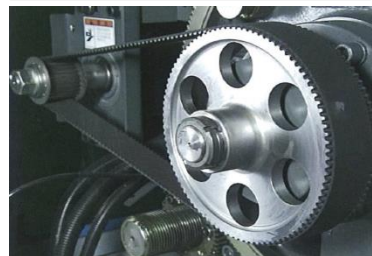
ベルト事業

自動車分野



●自動車用補機駆動ベルト ●オートテンショナ

産業機械分野



農業用機械分野



搬送分野



エラストマー製品事業



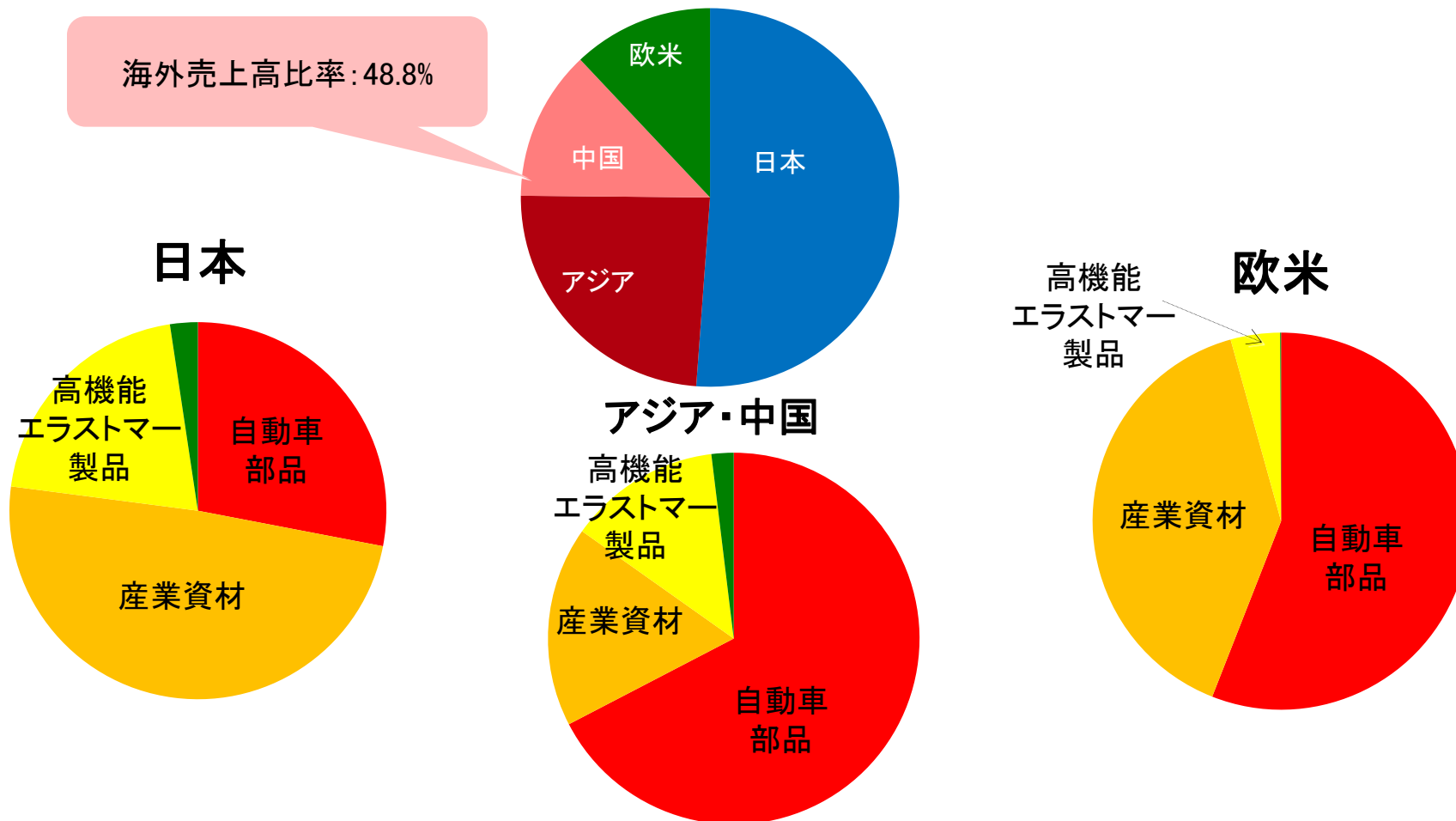
●精密機能部品製品
(左:クリーニングブレード 右:高性能ローラ)

●機能フィルム製品

■ 事業構成（所在地別・製品別売上高）

所在地別売上高構成比率

海外売上高比率：48.8%



■ 世界でのベルト事業(自動車部品・産業資材)の占める割合は81.8%。

Ⅱ. 2016年3月期 第2四半期 決算概要

■ 2016年3月期 第2四半期 決算ハイライト

(百万円)

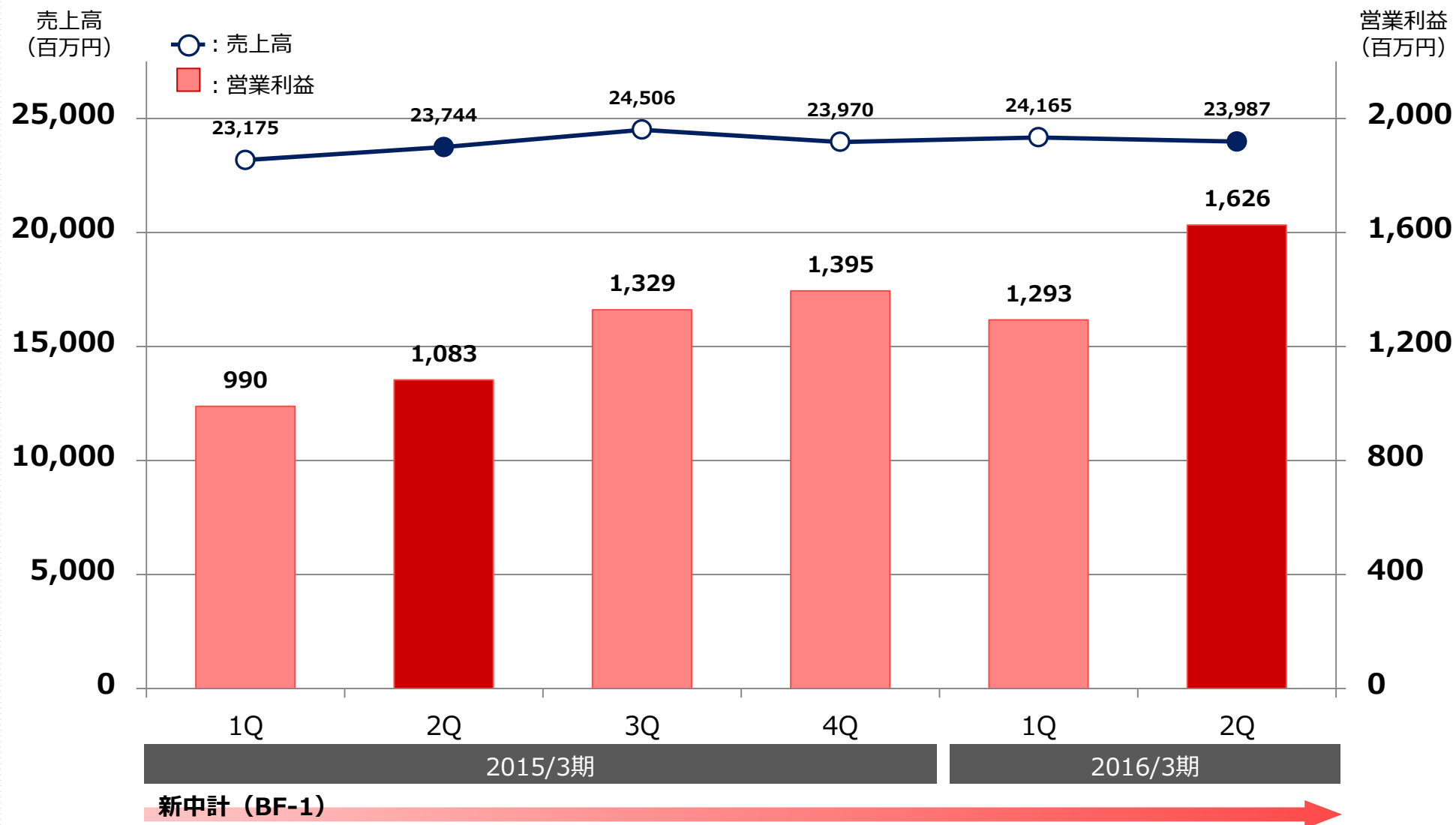
	2014/9	2015/9			
	実績	実績	前年同期比	事前予想	事前予想比
売上高	46,919	48,152	+1,232	50,000	△1,847
営業利益	2,073	2,919	+845	2,900	+19
経常利益	2,556	3,491	+935	3,500	△8
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,922	2,592	+670	2,200	+392
営業利益率	4.4%	6.1%	+1.6%	5.8%	+0.3%

※事前予想: 2015年5月15日公表の連結業績予想。

- 前年同期比では増収増益。業績予想に対しては、売上高は未達となるも、営業利益は予想通りの結果になった。

- 自動車部品事業は、中国、アジアおよび日本の生産台数の低迷により、前年同期比で、販売が減少した。スクーター用変速ベルトを手掛けるベトナム、インドにおいては、販売が大きく伸長し、インドにおける生産が本格的に開始した。
- 産業資材事業は、一般産業用伝動ベルト製品が、米国、アジアの堅調な設備需要と中国の農業機械購入補助金の再開により、前年同期比で販売が増加した。
- エラストマー製品事業は、機能フィルム製品の販売が減少するも、OA機器メーカー向け精密ベルトや高機能ローラ、樹脂製品が好調に推移し、前年同期比で販売が増加した。
- 各地生産拠点の原価低減活動の徹底や海外生産拠点の増強が軌道に乗ってきたことなどにより、前年同期比で、営業利益が増加した。

■ 四半期推移(売上高/営業利益)



■ 2016年3月期 第2四半期 事業セグメント別業績

BANDO

(百万円)

	2014/9	2015/9			
	実績	実績	前年同期比 増減額	業績予想値	業績予想値 差額
売上高	46,919	48,152	+1,232	50,000	△1,847
ベルト事業	38,704	39,419	+715		
エラストマー製品事業	7,716	7,861	+144		
その他	980	1,335	+354		
セグメント間消去	△482	△463	+18		
営業利益	2,073	2,919	+845	2,900	+19
ベルト事業	1,740	2,657	+917		
エラストマー製品事業	61	330	+268		
その他	126	157	+31		
調整額	145	△225	△371		

■ (参考)2016年3月期 第2四半期 変更後事業セグメント別業績

(百万円)

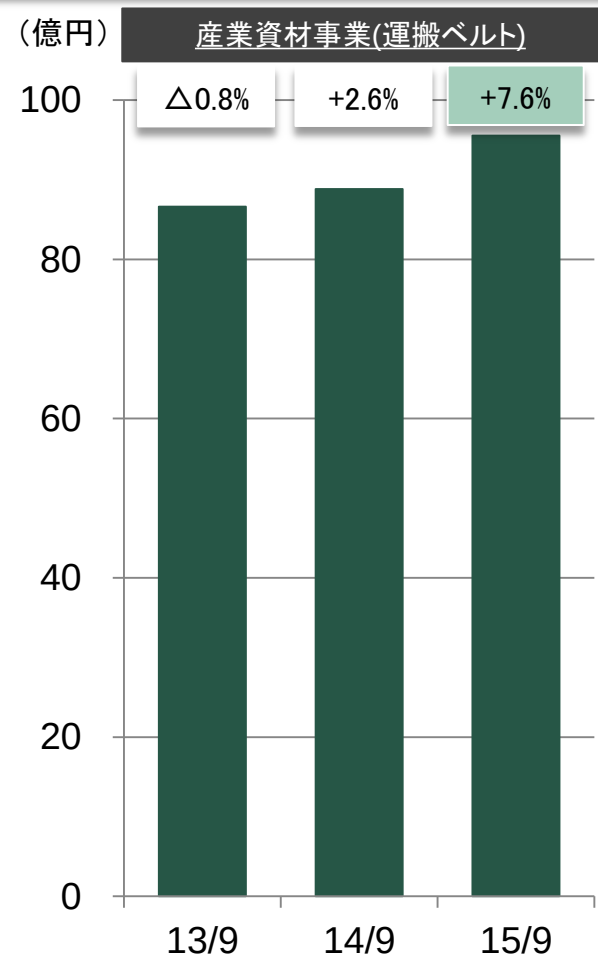
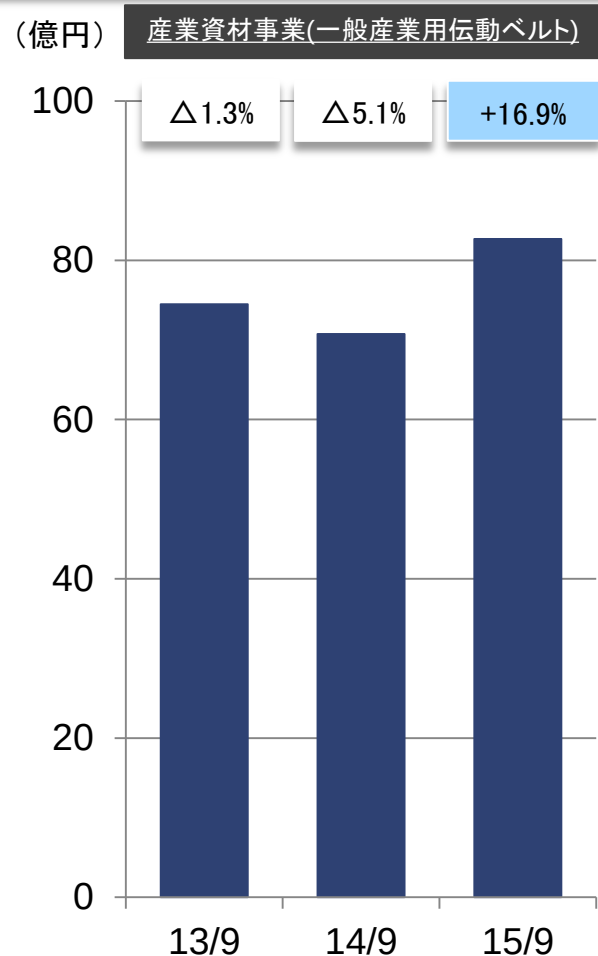
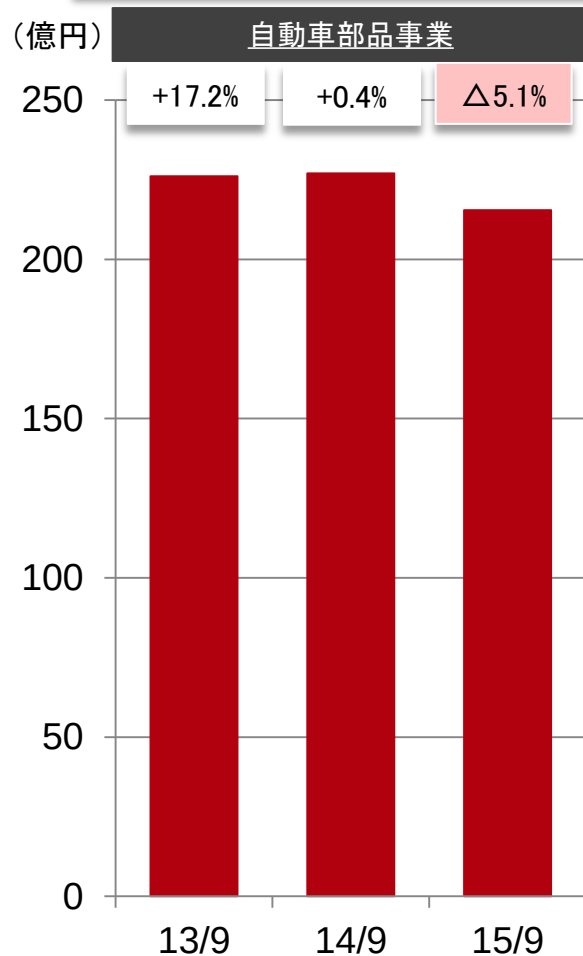
	売上高	営業利益
自動車部品事業	21,593	1,551
産業資材事業	17,852	1,106
高機能エラストマー製品事業	7,861	330
その他	1,335	157
セグメント間消去	△490	△225
合計	48,152	2,919

当第1四半期連結会計期間より、上記区分に変更しておりますが、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えることが実務上困難であることから、変更前の前年同期の数値と比較しております。

■ ベルト事業 売上高推移

売上高: +715百万円 前年同期比: +1.8%

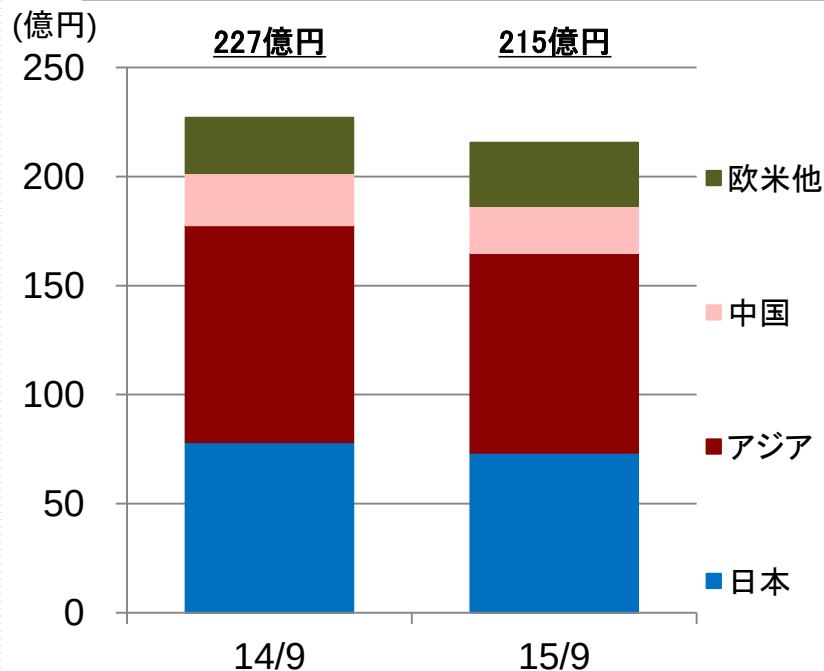
✓ 産業資材事業の売上が伸長し、前年同期比で増加。



(注)上記売上高はセグメント間取引消去後。

自動車部品事業 概要

所在地別売上高



欧米他
(+13.8%)

- 米国と欧州における生産台数は引き続き好調に推移。トルコは補修、OEMとも販売増加。

中国
(△9.8%)

- 新車販売の不振による主要顧客の減産の影響により販売が減少。

アジア
(△7.9%)

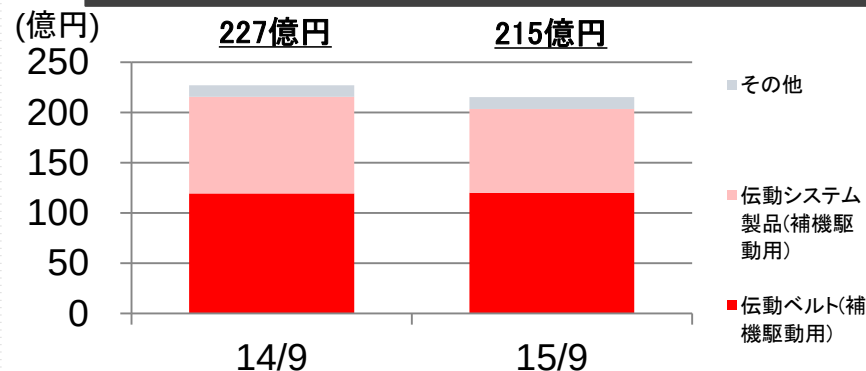
- 韓国にて当社部品搭載車種の販売が減少。
- 二輪車用伝動ベルトは、インドやベトナムでスクーター用変速ベルト等の販売が増加。

日本
(△6.1%)

- 軽自動車税の引き上げ前の駆け込み需要の反動などにより低迷。ベルト非装着車種の増加の影響から販売が減少。

(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

製品別売上高

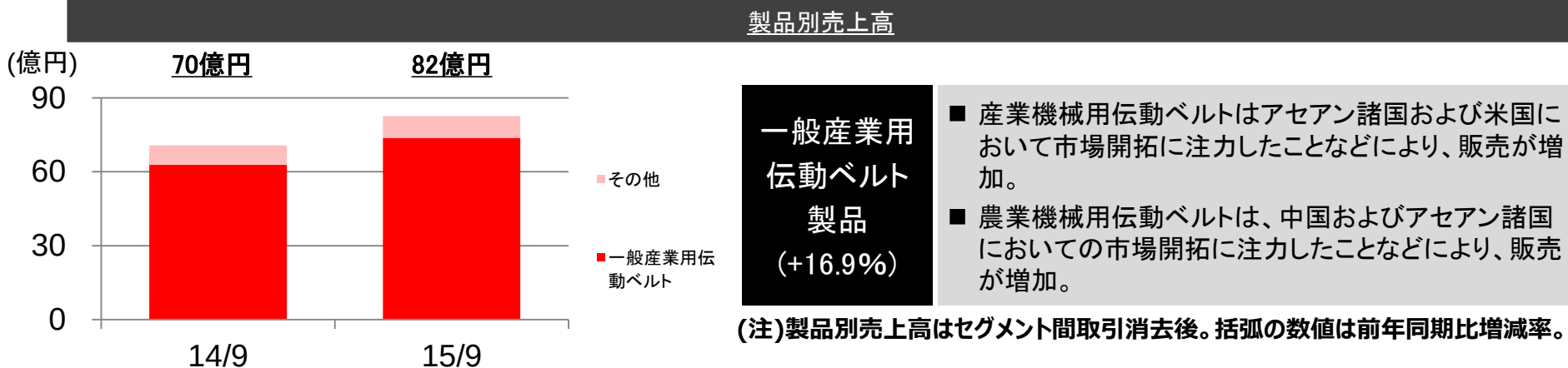
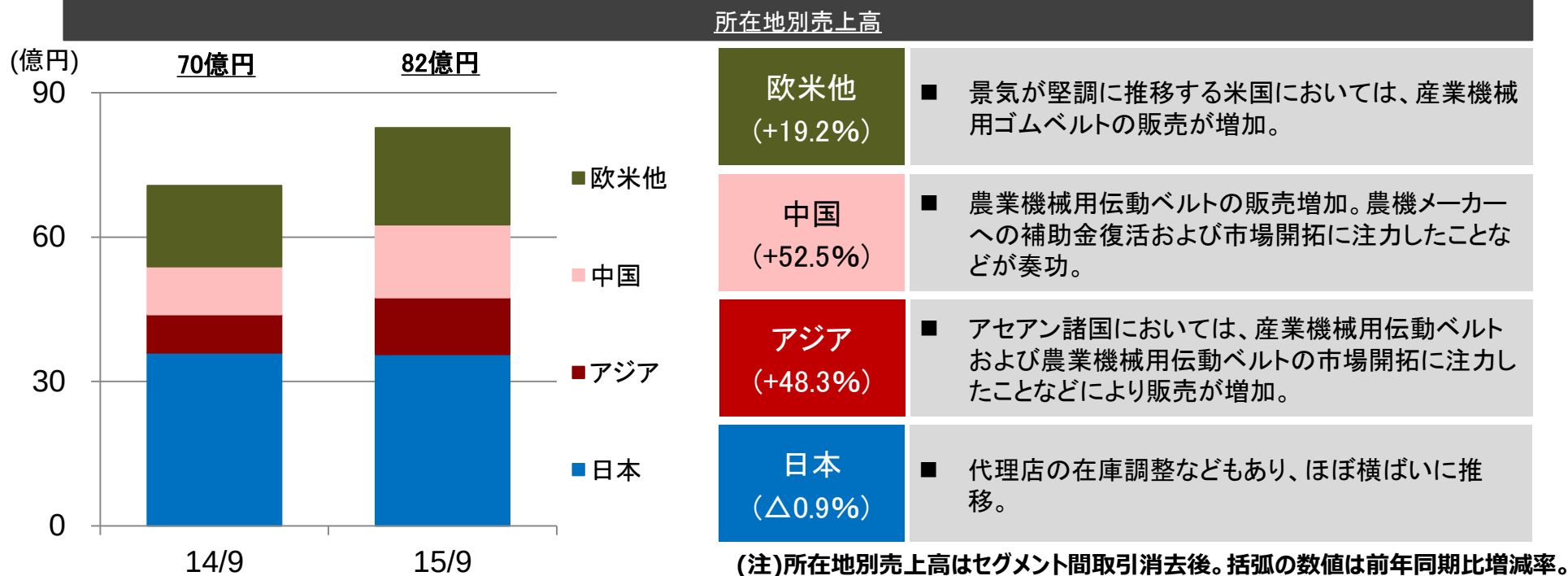


自動車
部品
(△5.1%)

- 伝動ベルト
自動車用ベルトの販売が減少するも、二輪車用ベルト等の伸長により前年同期比横ばい。
- 伝動システム製品
主要顧客のモデルチェンジおよび中国市場における減産の影響等により販売が減少。

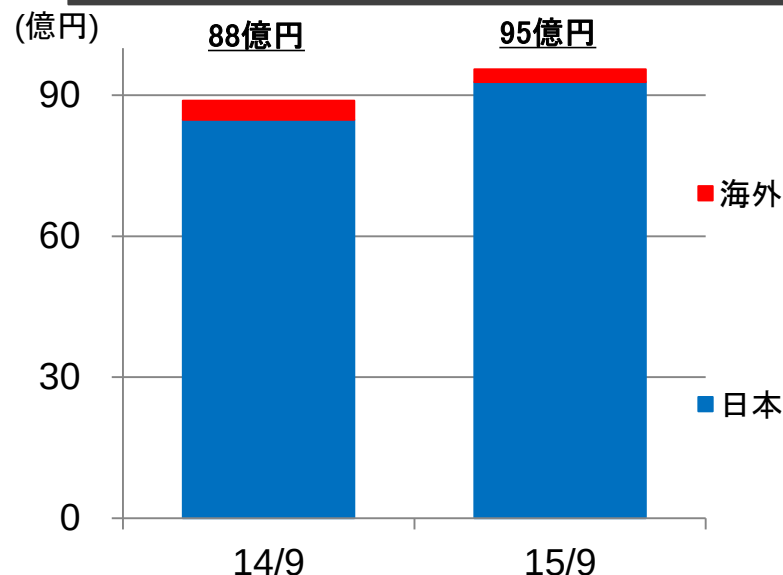
(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

産業資材事業 概要(一般産業用伝動ベルト製品) **BANDO**



産業資材事業 概要(運搬ベルト)

所在地別売上高



海外
(△32.5%)

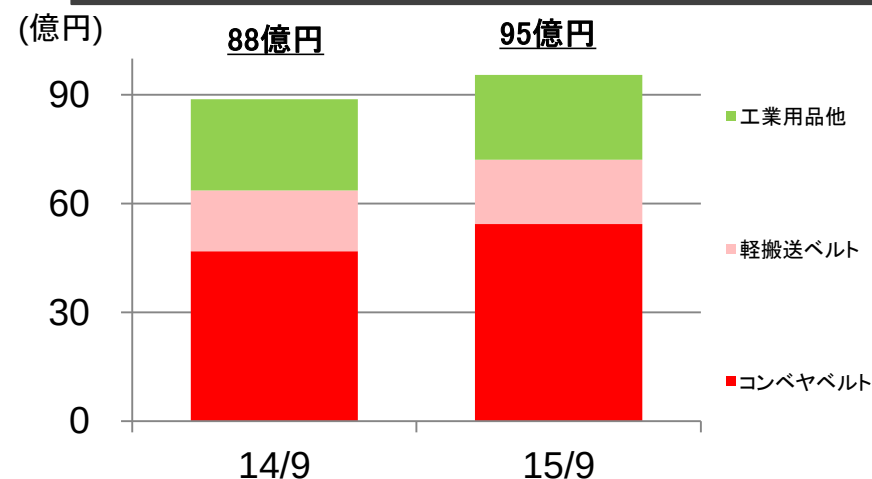
- 中国やアセアン諸国において、コンベヤベルトおよび軽搬送ベルトの販売が減少。

日本
(+9.5%)

- 急傾斜搬送用コンベヤベルトの販売が増加。
- 軽搬送ベルトの販売が増加。

(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

製品別売上高



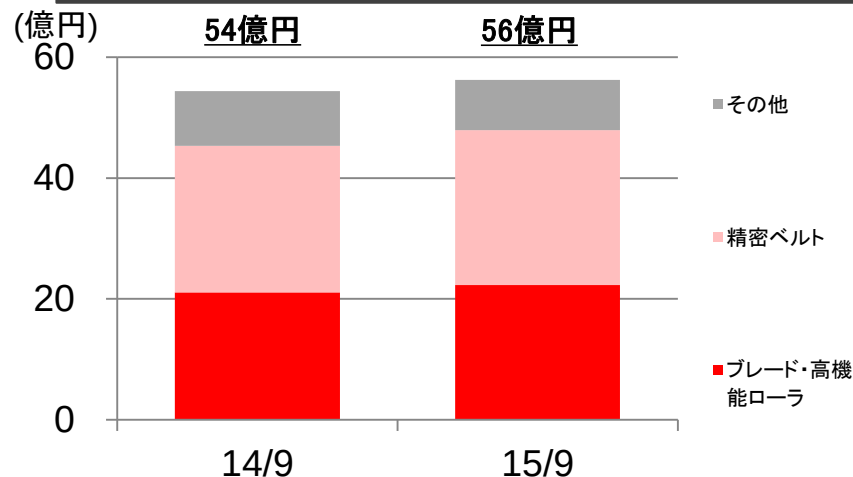
運搬ベルト
(+7.6%)

- 資源開発用コンベヤベルトの輸出は減少したが、国内の急傾斜搬送用コンベヤベルトの販売が増加。
- 軽搬送ベルトは、物流・食品分野への拡販に継続して注力したことから販売が増加。

(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

■ 高機能エラストマー製品事業 概要

精密機能部品 製品別売上高

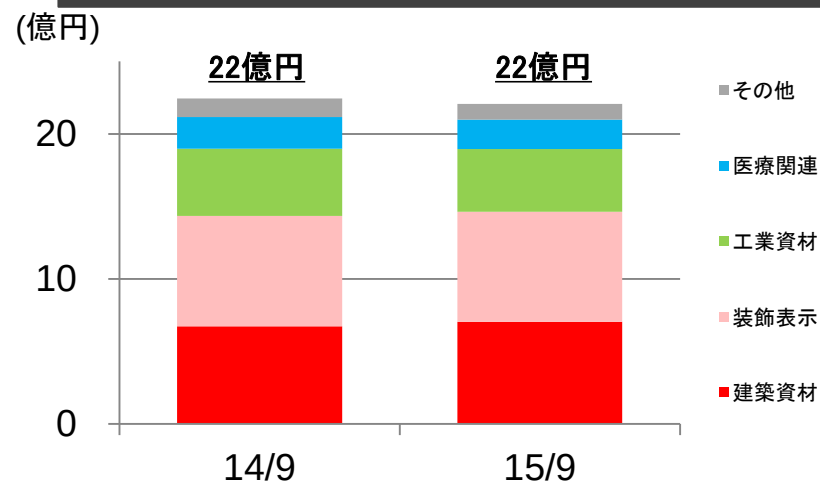


精密機能
部品
(+3.4%)

■ 精密機能部品においては、OA機器などで使用される精密ベルト、高機能ローラや樹脂製品などの販売が増加。

(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

機能フィルム 製品別売上高

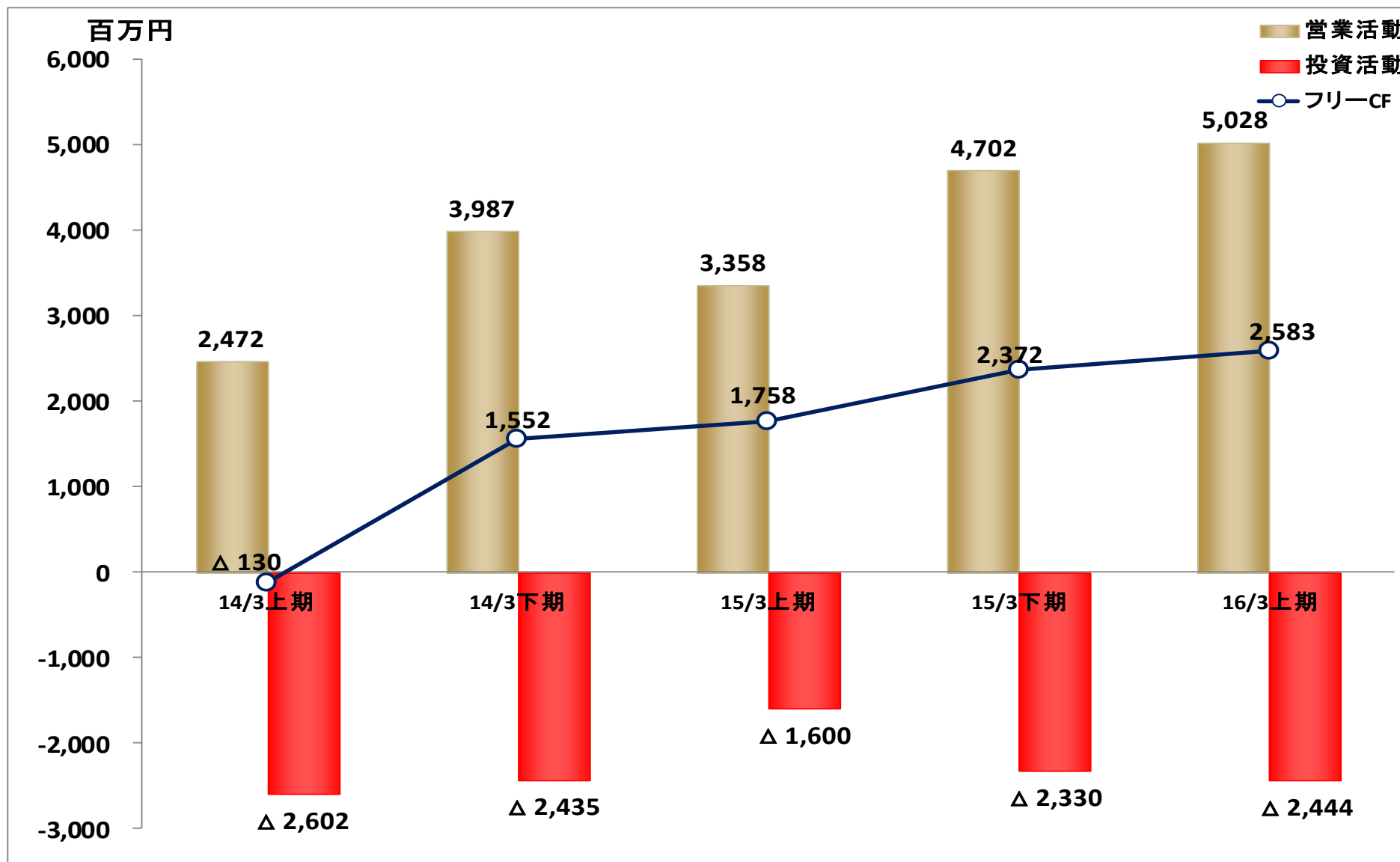


機能
フィルム
(△1.7%)

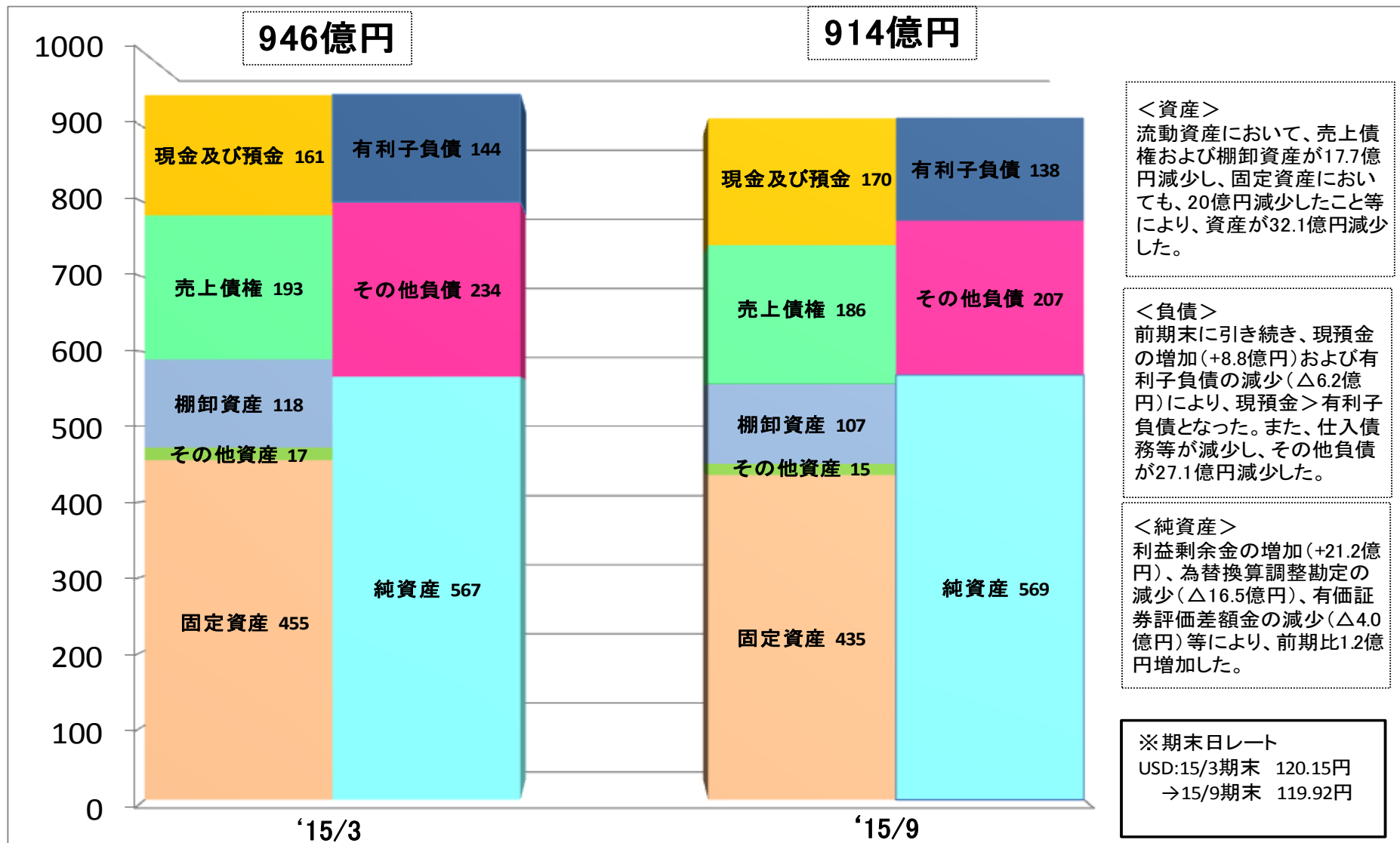
■ 機能フィルム製品においては、市況などの回復が遅く、横ばいで推移。

(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

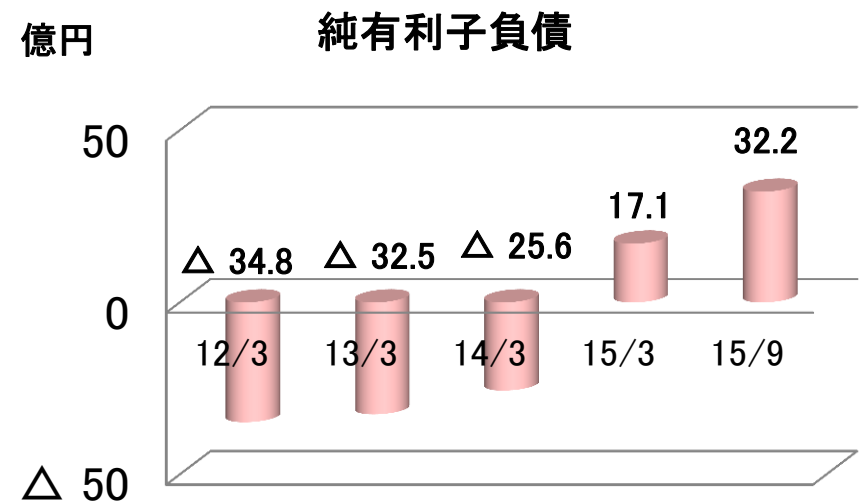
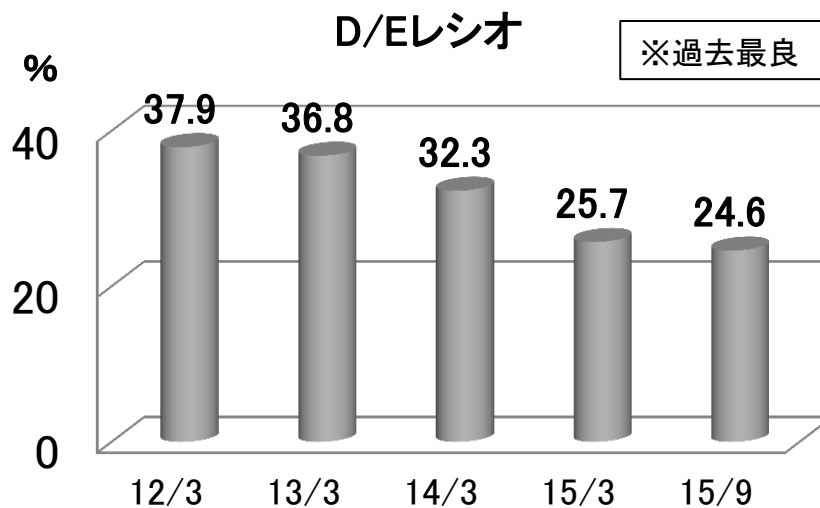
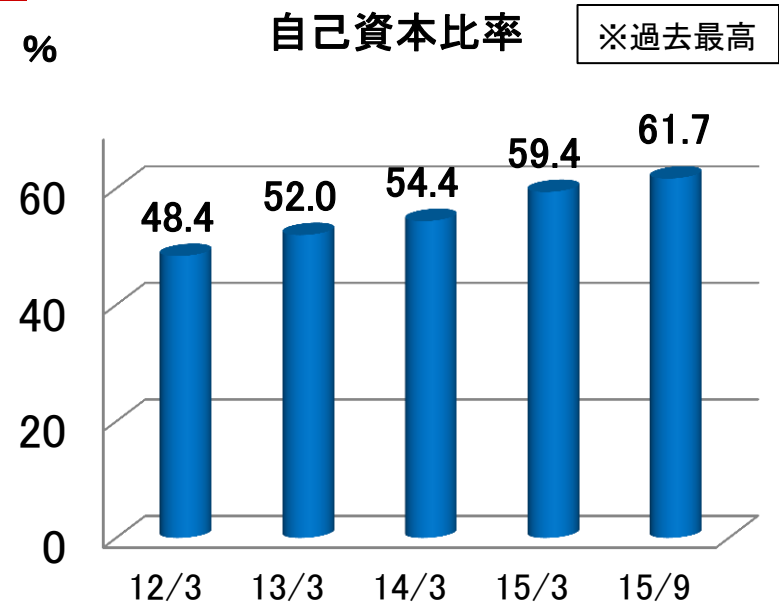
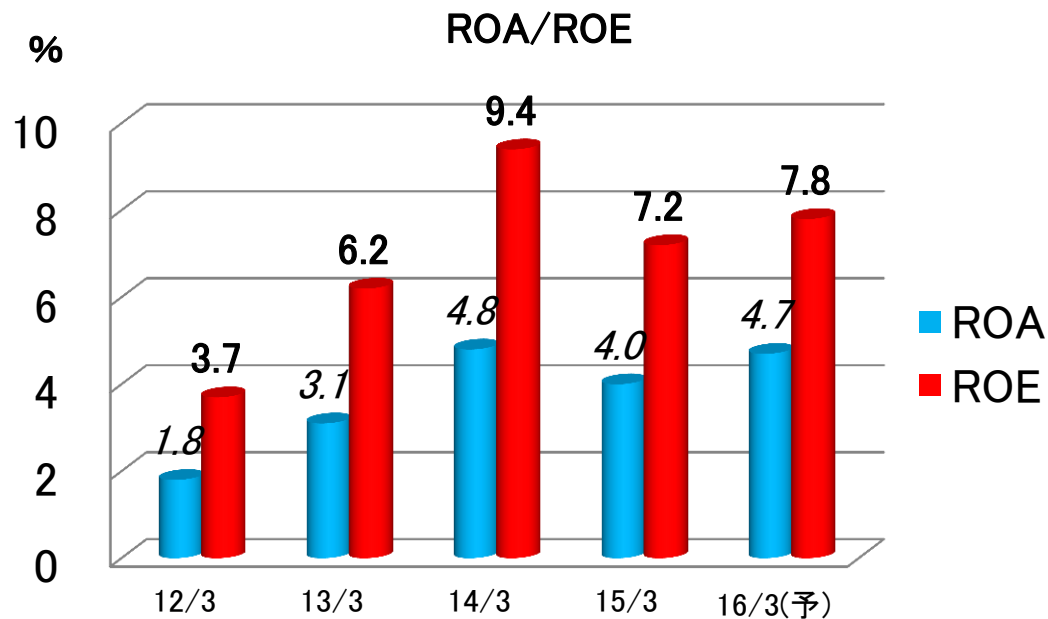
■ キャッシュフローの推移



連結貸借対照表



財務指標



Ⅲ. 2016年3月期 業績予想

■ 2016年3月期 業績予想

(百万円、%)

	2014/3	2015/3		2016/3 予想	
	実績	実績		前年同期比	
売上高	93,434	95,395	95,000	△395	△0.4%
営業利益	5,517	4,797	5,800	1,002	+20.9%
経常利益	6,103	5,730	6,800	1,069	+18.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,280	3,758	4,500	741	+19.7%

販売面

- 当第2四半期連結累計期間の業績と中国をはじめアジア全般の成長鈍化による先行き不透明感を踏まえ、売上高の通期業績予想を修正いたします。

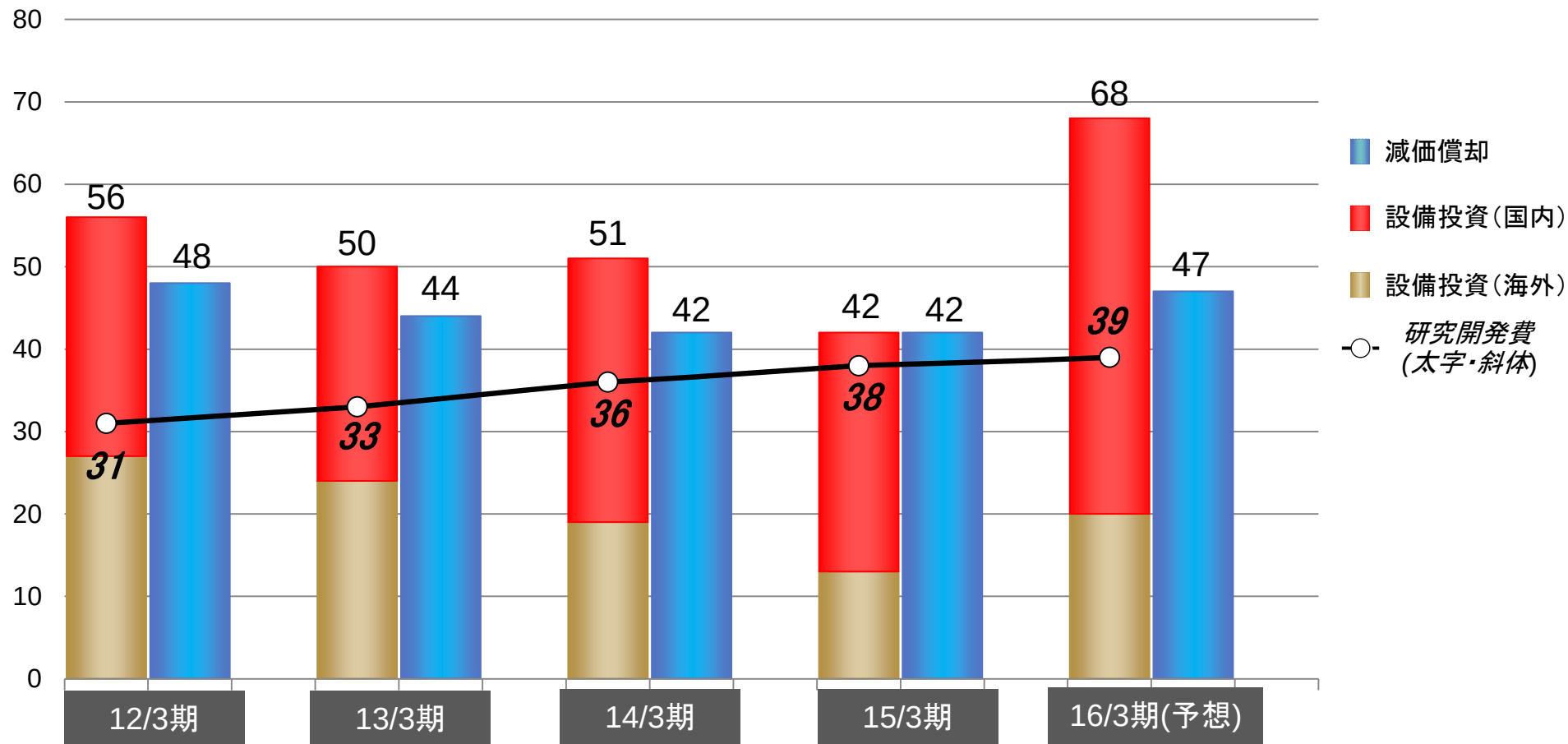
利益面

- 売上高は減少見込となりますが、上期での原価低減活動の徹底や海外生産拠点の増強を引き続き推進し、利益改善を図ります。

為替

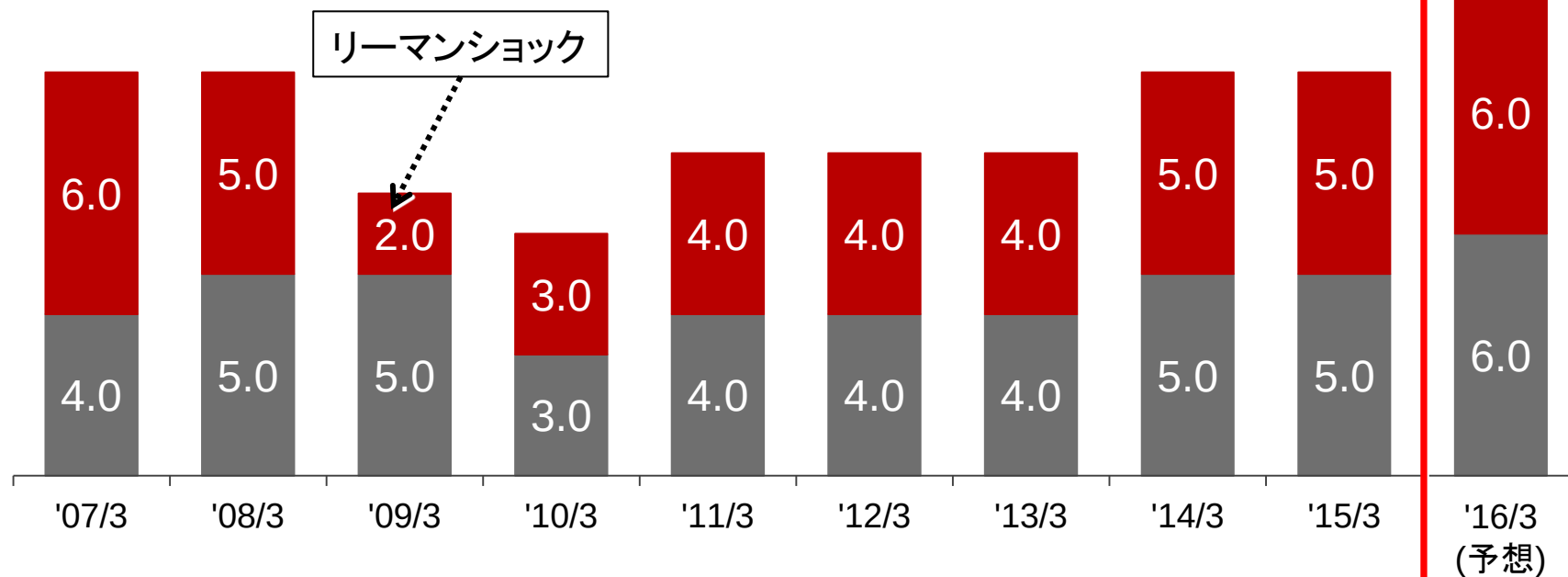
- 想定レート・・・1USD=120円、1EUR=130円、1人民元=20円

■ 設備投資額と減価償却費、研究開発費の推移



(単位: 億円)

株主配当の推移



配当性向	25.4%	19.0%	—	48.7%	23.7%	53.9%	30.2%	22.0%	25.0%	25.1%
------	-------	-------	---	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

IV. 中期経営計画

Breakthroughs for the future について

中長期経営計画“Breakthroughs for the future”

中長期経営計画“Breakthrough_S for the future” 『未来への躍進』

目指す姿：グローバルで『際立つ』サプライヤー

- 事業領域はベルトおよび機能製品分野、事業展開はグローバル
- キラリと光る付加価値製品の提供、キーワードは「環境・省エネ・高機能」
- ゴム・エラストマー・樹脂の「コア技術」と「信頼の品質」を活用

Breakthroughs for the future 1st Stage(2013～2017年度)

- ・ 現事業の進化と深化
- ・ 研究開発と市場開拓の強化

Breakthroughs for the future 2nd Stage(2018～2022年度)

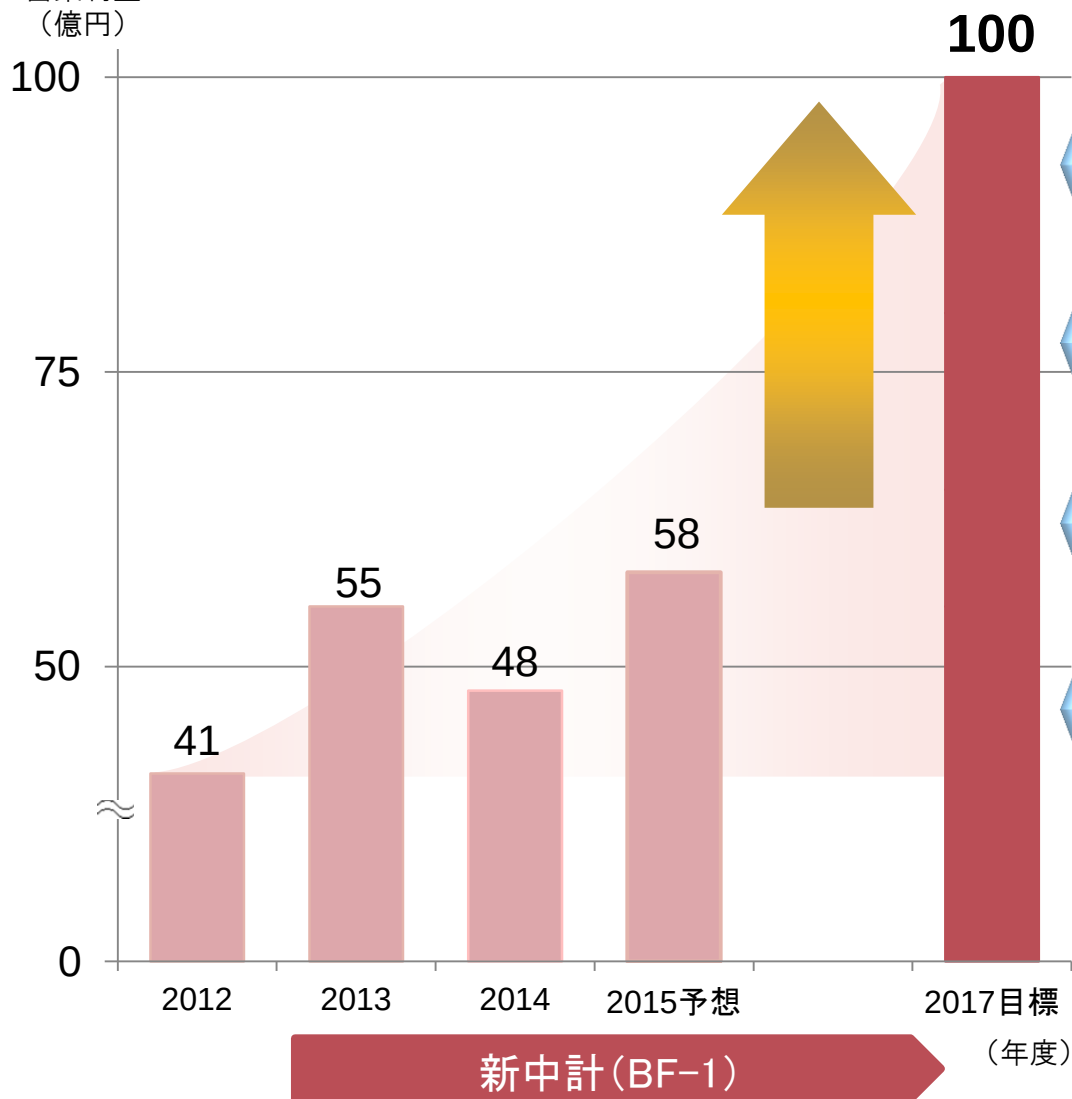
- ・ 10年後のありたい姿の実現
- ・ ベルトに次ぐ事業の確立

■ BF -1:5つの指針



グローバルで『際立つ』サプライヤーに向けて

営業利益
(億円)



①グローバル市場戦略の進化

- 中国・アジア・新市場での販売拡大
- インド・タイ・中国等において生産能力増強

②製品の進化

- 現有製品の高付加価値化を強力に推進
- 高収益製品へのポートフォリオの入れ替え

③ものづくりの進化

- 世界最適 調達・生産・供給体制の確立
- コスト競争力のある革新製法を確立

④新事業の創出

- 産学官の連携強化
- コア技術をベースとした研究開発の推進

グローバル市場戦略の進化

2015年度の取り組み

- ✓ インド、ベトナムにおいて、スクーター用変速ベルトの販売拡大。
- ✓ メキシコに販売会社を設立し、市場開拓を推進。



インド Bando India Pvt. Ltd.



メキシコ Bando Belting de Mexico, S.A. de C.V.

➡ 販売網・バリューチェーンを活用した販売拡大、新興市場開拓の推進、
世界最適調達・生産・供給体制の構築を図る。

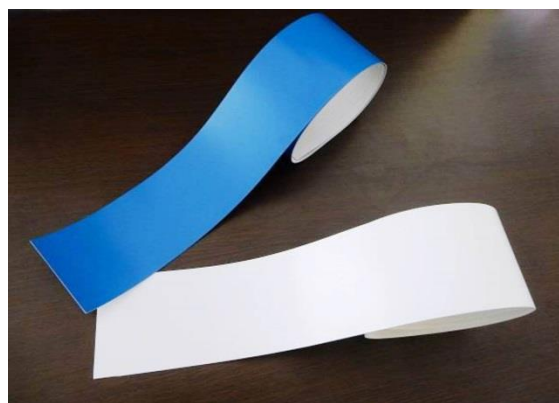
2015年度の取り組み

■ 高付加価値製品への転換



- ✓ 高負荷対応歯付ベルト
「Ceptor®-X : セプターテン」(15年10月)

高剛性、高弾性の構成部材を使用することにより、伝動容量を約35%向上させ、高トルク伝動を実現。



- ✓ 欧州委員会規則に適合した
軽搬送用ベルト「サンライン®ベルト」(15年10月)

今後、需要拡大が期待される欧州連合(EU)に輸出される未包装食品の搬送や食品機械に使用される製品として、ラインアップを追加。

➡ 近年の開発製品の販売拡大、高付加価値製品の開発によって、高収益製品へのポートフォリオの転換を推進。

ものづくりの進化

2015年度の取り組み

■ グローバル競争力の向上

- ✓ 加古川工場 コンベヤベルト生産ラインの刷新を推進。(16年2月 稼働予定)
- ✓ 足利工場ウレタン新製法の確立を推進。(16年上期 稼働予定)



コンベヤベルトの主力工場「加古川工場」



ウレタンベルトを製造する「足利工場」

➡ 新製法の確立等により、高い競争力を実現するものづくりを目指す。

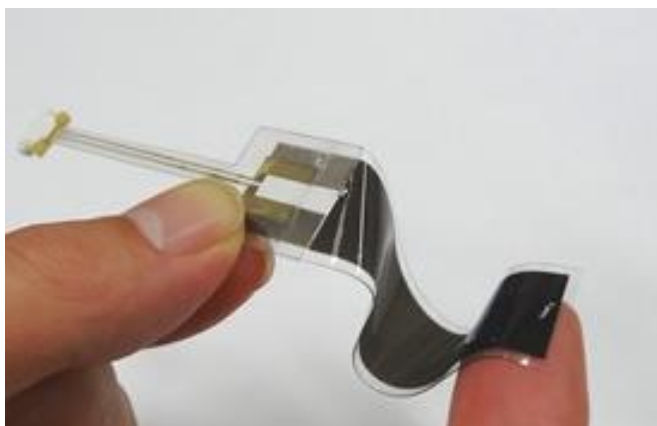
■ 当社コア技術(配合・分散・複合化)をベースとした研究開発の推進。



✓ 「輸送貨物の固縛ベルト用張力計」

物流会社山九(株)と固縛ベルトの張力を測定するデジタル張力計を共同開発。張力を数値で管理して一定に保ち、荷崩れの一因である固縛ベルトの張力不足を未然に防止する。

◆ 量産販売開始予定(16年10月)。

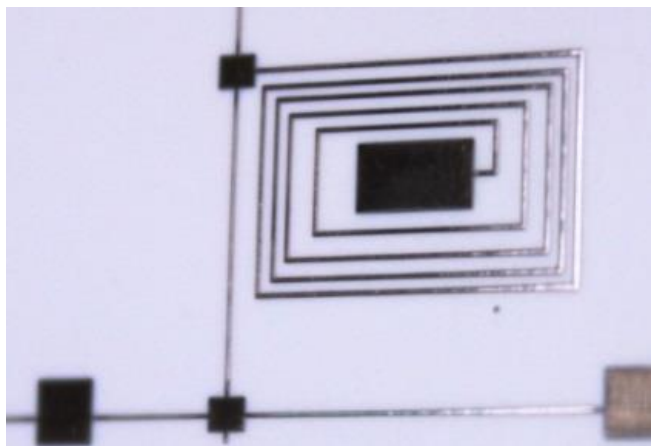


✓ 伸縮性ひずみセンサ 「C-STRETCH®: シーストレッチ」

長さや面積等の面的な伸びの大きさを検知することができるセンサで、センサ自体に伸縮性のある、全く新しい特長のセンサです。

◆ 研究開発キットを販売(15年7月)

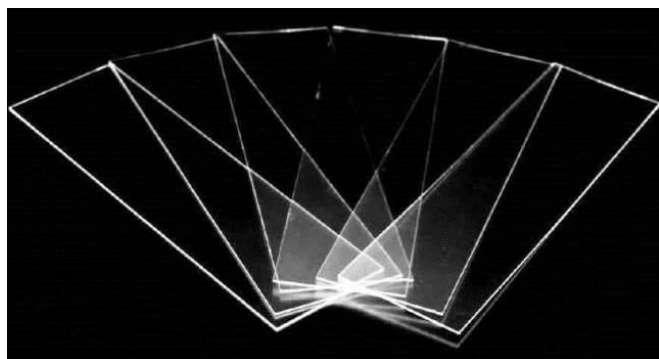
性能を試していただき、量産化を推進。



✓ 金属ナノ粒子ペースト「FlowMetal®」

鉛規制の強化で需要の拡大が見込まれる欧州をはじめ米国や電子部品の生産が盛んな台湾、韓国など海外の市場開拓を推進。

- ◆ 銀ナノ粒子インク
- ◆ 銀ナノ粒子接合材



✓ 「光学用透明粘着剤(OCA)」

光学用透明粘着剤として、50～2000 μm の幅広い厚みに対応。

- ◆ 量産販売開始予定(15年下期)。

➡ 今後、次代の柱となる新製品、新事業の創出に向けた研究開発に注力。

主なトピックス

2015年

4月・国内最大級700kgの重可搬用ツールチェンジャー

「QUICK-CANGE GIGA」を販売開始(ビー・エル・オートテック株)

- ・より効率的な営業活動を目的に「東京支店」を東京都中央区に移転
- ・「ホームページ」を全面刷新し、掲載内容をさらに充実(和英中対応も拡充)

・R&Dセンターの開発製品を中心に

「第6回 高機能フィルム展」に出展(東京ビッグサイト)

5月・国内2工場(加古川工場:コンベヤベルト、足利工場:精密ベルト)の生産ライン刷新に着手

6月・「環境・省エネ・高機能」をキーワードにした開発製品を「M-Tech2015」に出展(東京ビッグサイト)

7月・伸縮性ひずみセンサC-STRETCH®(シーストレッチ)を開発性能を試せる研究開発キットを販売し、量産化の取り組みを推進。

・南海工場「無災害記録370万時間」を達成

8月・「サイン&ディスプレイショウ2015」にフィルム製品を出展(東京ビッグサイト)

・「CSR報告書2015」を発行

9月・伝動ベルトの張力を適正に管理・測定する技術を活用し、荷崩れを防ぐ「輸送貨物の固縛ベルト用張力計」を開発



↑「QUICK-CANGE GIGA」



↑「高機能フィルム展」



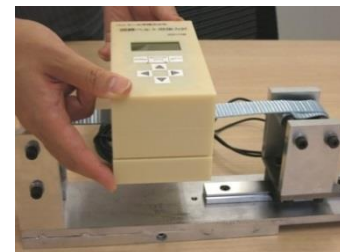
↑「ホームページ TOPページ」



↑ コンベヤベルトの主力工場である加古川工場(左)とホリウレタン製精密ベルトを生産する足利工場(右)



↑ 伸縮性ひずみセンサ「C-STRETCH®」



↑ 固縛ベルト用張力計

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。